

高齢心不全の医療介護共通のICF評価手法の適切性に関するデルファイ調査

研究分担者：塩田 繁人（広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門・作業療法士）

研究協力者：落久保 裕之（広島県介護支援専門員協会・会長）

望月 マリ子（広島県介護支援専門員協会・副会長）

安信 祐治（三次地区医療センター 病院長）

山口 瑞穂（広島大学病院 心不全センター）

中 麻規子（広島大学病院 心不全センター）

研究要旨：ICFを用いた医療介護共通の評価手法の確立は喫緊の課題である。本研究では、高齢心不全の医療介護共通のICF評価手法の適切を検証することを目的に、臨床に従事する医療介護多職種27例を対象にRand Delhi法を用いたアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施にあたり、これまでの研究を基に研究班で協議して43項目のICF項目に対応した評価の目安と補助基準を作成した。1回目の調査結果では、有効回答26例（回収率：96.3%）、43項目すべてのICF項目において回答者の中央値が「7～9：適切」であった。しかし、「1～3：不適切」と回答があった項目も認めため、回答者のコメントを基に評価手法を修正し、現在は2回目の調査中である。

本研究結果により、ICFを用いた医療介護共通の評価手法が確立される予定である。

A. 研究目的

心疾患と脳血管障害を合わせた循環器病は我が国の死亡原因の第2位、介護が必要となった原因の第1位であり、医療費は年間6兆782億円と最多である。2020年10月にプレリリースされた『循環器病対策推進基本計画』が策定され、保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制を充実するため、多職種連携や情報共有体制の整備が求められている。医療は診断と治療が目的であり、介護は生活の維持やより良い生活が目的である。循環器病は疾病の治療を継続しながら生活に介入する必要がある、医療だけでは十分でない。国際生活機能評価ICFは生活を評価する標準的手法であり、国際疾病分類ICD第11版に併記される予定である。

『高齢心不全患者の治療に関するステートメント

『日本心不全学会：2017』』では、生活機能評価のため国際生活機能評価ICFが推奨されており、

これまで我々は、心臓リハビリテーション指導士を対象としたデルファイ法を用いたアンケート調査により、高齢心不全の生活支援に必要なICF60項目を選定し（塩田ら：2020）、「医療介護連携シート」と「ICF評価マニュアル（De Vriendt P et al: 2012, Giardini A et al: 2019等を参考）」を開発した。我々が目指すICFを用いた循環型の情報共有体制を整備するためには、医療・介護の両側にとって現場で活用しやすい言語と評価基準を定めた上で、実測データを収集・解析する必要がある、介護支援専門員がケアプランを作成する上で必要となるICF項目についての調査を実施した結果49項目が選定され、心臓リハビリテーション指導士の60項目を含めて検証した結果、43項目が医療介護連携に必要なICF項目であることが明らかとなった。

しかし、実臨床においてICFを用いた生活機能

評価を進めるためには、開発した評価手法の妥当性を医療と介護の両面から検証する必要がある。

本研究の目的は、我々が開発した「循環器病患者における医療介護共通の評価手法」の妥当性をエキスパートに対するデルファイ調査によって検証することである。本研究により、医療と介護の共通評価手法が確立され、患者の再発予防や QOL 向上だけでなく社会保障費の抑制が期待できる。

B. 研究方法

1. 対象

研究対象者は、広島県介護支援専門員協会の落久保会長と望月副会長から推薦された医療職を基礎職種とする介護支援専門員 10 名、落久保会長から推薦された広島市内のかかりつけ医・在宅医 5 名、広島県心臓いきいき推進会議から推薦された医療福祉専門職（医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・社会福祉士）12 名の合計 27 名の多職種とした。

2. 調査方法

研究方法は Rand Delphi 法を用いた郵送および Web（Google フォーム使用）を併用したアンケート調査を実施した。調査項目はこれまでの研究で高齢心不全の医療介護連携に必要とされた ICF43 項目について、（1）採点の目安と（2）採点の補助基準で採用した評価法、（3）補助基準による採点の目安の 3 項目の適切性について 1（非常に不適切）～9（非常に適切）の 9 段階で評価を行った。

調査方法は以下の流れの通りである。

- ① 研究対象者に対して Web（Zoom 使用）による研究説明会を実施し、研究の趣旨と流れを説明した。
- ② 研究担当者は研究対象者に対して研究説明書とアンケートフォームを郵送で送付した。
- ③ 研究参加者はアンケートフォームから 43 項目の（1）評価の目安と（2）評価の補助基準、（3）評価の補助基準の目安の 3 項目について 1（非常に不適切）～9（非常に適切）の 9 段階で評価した。

- ④ 研究担当者は、各 ICF コードの評価を集計し、中央値を求めた上で「7-9：適切である」以外の項目については研究協力者と協議して内容を修正した。
- ⑤ 研究担当者は、研究参加者に 1 回目の調査の結果と修正した ICF 評価手法のアンケートフォームをメールで送付した。
- ⑥ 研究参加者は 1 回目の調査結果を参考にしながら 2 回目のアンケート調査に回答した。
- ⑦ 研究担当者は、各 ICF コードの評価を集計し、中央値を求め、必要に応じて内容を修正した。

3. 調査期間

1 回目：2021 年 2 月～3 月

2 回目：2021 年 4 月～5 月

（倫理面への配慮）

本研究は広島大学病院疫学倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：E-2342）。

C. 研究結果（図 1～3）

現在、2 回目の調査中であるため、1 回目の調査結果までを報告する。

27 名中 26 名から回答を得た（96.3%）。回答者の職種は介護支援専門員 10 例、看護師 7 例、石 6 例の順に多かった（重複あり）。施設種別では、急性期病院 8 例、居宅介護事業所 7 例、診療所・クリニック 5 例の順に多かった（重複あり）。ICF43 項目の（1）採点の目安、（2）採点の補助基準、（3）補助基準による採点の目安の適切の評価については、ICF43 項目すべてにおいて中央値が「7～9：適切」であった。いずれかの適切性の評価において中央値「1～3：不適切」に 1 例以上回答があった ICF 項目は、b110 意識機能、b130 活力と欲動の機能、b134 睡眠機能、b164 高次認知機能、b410 心機能、b415 血管の機能、b420 血圧の機能、b440 呼吸機能、b455 運動耐容能、b460 心血管系と呼吸器系に関連した機能、b525 排便機能、b530 体重維持機能、

b545 水分・ミネラル・電解質バランスの機能, b620 排尿機能, b710 関節の可動性の機能, b730 筋力の機能, s410 心血管系の機能, d310 話し言葉の理解, d330 話すこと, d410 乗り移り, d450 歩行, d510 自分の体を洗うこと, d520 身体各部の手入れ, d530 排泄, d540 更衣, d550 食べること/d560 飲むこと, d620 調理, d630 調理以外の家事, d710 基本的な対人関係, d920 レクリエーションとレジャー, e310 家族であった。これらの ICF 項目については回答者のコメントを基に修正した。

ICF の個人因子のうち、医療と介護の情報共有に重要と思われる項目については、価値観、本人の生活目標（ニーズ）、生活習慣、年齢、生活歴、思考、コーピングストラテジーについて 7 割以上の回答者が重要と回答した。

高齢心不全の医療介護連携に必要と思う情報については、心不全増悪時のサイン、服薬アドヒアランスの状況、緊急時の対応、適切体重や血圧、リハビリ継続の必要性、塩分・水分制限の目安、活動負荷の目安、必要と思われる介護サービスについて 7 割以上の回答者が必要と回答した。

D. 考察

本研究では、これまでの研究に基づいて作成した高齢心不全の医療介護共通の ICF43 項目について、採点の目安、採点の補助基準となる評価法、補助基準となる評価法の採点の目安について、実臨床に関わる医療介護多職種を対象に Rand Delphi 法を用いて、適切性の評価を実施した。1 回目の調査結果としては、43 項目すべてにおいて回答の中央値が「7～9: 適切」となったものの、改善の余地があるため、修正を加えて 2 回目の調査中である。

本研究の結果をもとに、医療介護共通の ICF 評価マニュアルを作成するとともに、ICF 評価だけでなく個人因子や心不全増悪予防のための情報を盛り込んだ医療介護連携シートを作成する予定である。

E. 結論

高齢心不全の ICF を用いた医療介護共通の評価手法を作成し、Rand Delphi 法を用いて医療介護専門職 27 名を対象に適切性に関するアンケート調査を実施した。1 回目の調査を終え、修正を加えた上で、現在 2 回目の調査中である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

図 1 : 1 回目の調査結果

b110 : 意識機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	4	1	8	6	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	0	8	7	10

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	1	2	12	5	5

b114 : 見当識機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	5	1	5	10	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	1	6	9	9

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	2	6	12	4

b130 : 活力と欲動の機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	2	3	1	8	5	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	1	10	5	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	0	10	9	5

b134 : 睡眠機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	1	3	3	8	7	2

補助基準は採用しておらず

b164 : 高次認知機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	2	3	0	9	5	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	1	2	2	7	5	7

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	3	1	9	7	6

b410 : 心機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	2	1	11	8	3

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	3	0	3	2	9	5	4

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	3	0	5	3	7	3	5

b415 : 血管の機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	0	3	0	9	6	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	0	10	4	10

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	2	1	7	5	10

b420 : 血圧の機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	0	2	2	9	6	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	0	3	9	7	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	3	6	7	9

b440 : 呼吸機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	3	0	7	10	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	3	0	0	0	7	9	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	4	0	0	1	12	4	5

b455 : 運動耐容能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	1	1	8	9	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	0	12	8	5

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	2	12	7	4

b460 : 心血管系と呼吸器系に関連した機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	2	1	6	10	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	0	1	7	6	10

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	2	0	0	0	0	9	7	8

b525 : 排便機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	0	3	1	11	5	4

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	2	13	6	3

b545 水分・ミネラル・電解質バランスの機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	3	0	8	6	7

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	1	1	0	8	5	9

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	1	1	2	7	6	7

b710 関節の可動性の機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	2	0	7	8	7

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	0	2	0	9	8	5

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	1	1	1	8	7	6

s410 心血管系の構造

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	2	1	10	6	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	2	0	1	1	5	7	5	5

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	3	0	2	4	6	5	6

b620 : 排尿機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	3	0	2	0	10	7	4

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	0	1	10	8	6

b730 筋力の機能

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	2	1	0	7	11	4

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	1	3	7	6	8

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	2	0	3	7	7	6

d177 意思決定

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	0	2	6	14	3

補助基準は採用しておらず

s177 意思決定に対するご意見

- ・※の部分踏まえて判断ができるか、不安がある
- ・意識障害者も4にいれてみてはいかがでしょうか？

d230 日課の遂行

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	1	8	12	4

補助基準は採用しておらず

d230 日課の遂行に対するご意見

- ・高齢心不全の方は日常生活が低下してきてても、その状態に慣れて行動を変えていくため、本人も家族も認識しにくいことがあり客観的評価が難しいことがある

d330 話すこと

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	0	3	7	10	4

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	4	3	6	7	5

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	1	1	3	7	6	6

d450 歩行

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	3	7	10	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	1	1	1	10	4	7

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	1	2	1	9	4	8

d310 話し言葉の理解

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	1	1	1	8	8	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	1	2	8	6	8

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	1	1	1	8	8	6

d410 乗り移り（移乗）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	1	1	6	10	7

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	0	0	8	8	10

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	0	1	9	7	8

d510 自分の体を洗うこと

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	1	7	8	8

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	1	1	2	7	8	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	1	1	1	11	6	5

d520 身体各部の手入れ

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	0	3	8	6	8

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	2	0	0	11	6	7

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	2	0	1	10	5	7

d540 更衣

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	1	2	7	8	7

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	0	2	11	6	7

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	0	3	10	5	7

d570 健康に注意すること

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	1	10	9	4

補助基準は採用しておらず

d570 健康に注意することに対するご意見

- ・セルフモニタリング、体重測定、血圧測定など項目に入れてもらえるとうわかりやすい
- ・対象者が健康に注意しているか否かの判断が難しそうな気がします。

d530 排泄

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	1	2	10	6	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	0	1	10	7	8

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	1	2	8	7	7

d550 食べること/d560 飲むこと

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	1	2	7	10	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	0	3	6	11	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	0	0	4	6	9	6

d620 調理

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	2	0	1	4	6	7	6

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	2	8	9	6

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	0	2	1	2	9	5	6

d630 調理以外の家事（日常生活に必要な家事（調理を除く）を行う。）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	1	1	0	1	2	9	7	5

採点の補助基準で採用した評価法の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	1	0	0	0	0	1	11	8	5

補助基準による採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	1	1	0	0	2	0	12	6	4

d760 家族関係

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	0	2	9	8	6

補助基準は採用しておらず

d760 家族関係に関するご意見

- ・なかなか答えにくいかもしれませんが、設問としては上記で回答を得るしかないかと思えます。
- ・身寄りのない人は知人でもOKか記載が必要です。

e310 家族（配偶者やパートナー、親、兄弟、子供等との支援と関係。）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	0	3	6	11	5

補助基準は採用しておらず

e310に対するご意見

- ・根本的に＝日常生活上 ととらえてよろしいでしょうか？
- ・家族のいない人はどう適応するか、注釈が必要です。

d710 基本的な対人関係

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	0	1	9	11	4

補助基準は採用しておらず

d710 基本的な対人関係に対するご意見

- ・手話はどう適応したらよいか注釈が必要です。

d920 レクリエーションとレジャー

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	1	0	1	2	8	10	4

補助基準は採用しておらず

d920 レクリエーションとレジャーに関するご意見

- ・自由記載欄は必要と思えます（活動の項目が知りたい）。
- ・趣味のない人はどう適応するか注釈が必要です。

e340 対人サービス提供者（生活を維持するために必要な対人サービスを提供する人々。例えば、介護支援専門員や地域包括支援センターの職員、ヘルパー、ガイドヘルパー、ボランティア、家事代行業者、デイサービス職員など）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	0	3	10	9	3

補助基準は採用しておらず

e340 に対するご意見

- ・小さな問題、大きな問題のイメージがわきにくい
- ・サービス支援を受けるときの問題について、可能ならもう少し具体的な記載があったほうが分かりやすいのではないのでしょうか
- ・根本的に＝日常生活上 ととらえてよろしいでしょうか？
- ・通所サービスは受け入れるが訪問サービスは拒否するとかどう適応するか注釈が必要です。

e355 保健の専門職（保健制度で働いている医療・福祉サービス提供者。例えば、医師や看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなど）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	0	4	7	9	6

補助基準は採用しておらず

e355に対するご意見

- ・（）内の保健は保険ではないのですよね？
- ・根本的に=日常生活上 ととらえてよろしいでしょうか？

e575 一般的な社会的支援サービス・制度・政策（日常生活が送れるように、買い物や家事、交通、セルフケアなどに支援を提供するサービス、制度、政策。例えば、介護保険サービスや障害福祉サービス、総合支援事業など。）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	2	3	8	9	4

補助基準は採用しておらず

e575 に対するご意見

- ・0の問題なしは政策等に問題なしではなく、それらを受けることに問題がないという意味ですかね？

e410 家族の態度（家族の本人に対する行動や態度）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	1	0	4	8	9	4

補助基準は採用しておらず

e410に対するご意見

- ・主観的な回答になりやすいのではないのでしょうか。
- ・具体的に挨拶、会話、スキンシップなどを取り込んだほうが評価しやすいのではと思いました。
- ・態度というのは生活上の協力という意味でよろしいのでしょうか？
- ・家族がいない人や独居の方はどう適応するか注釈が必要です。

e580 保健サービス・制度・政策（健康問題の予防や治療、リハビリテーションの提供。健康的な日常生活が送れることに関するサービス、制度、政策。）

採点の目安の適切性

基準	不適切			どちらともいえない			適切		
回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人数	0	0	0	0	1	2	10	8	5

補助基準は採用しておらず

e580に対するご意見

- ・採点が本人の問題なのか、制度の問題なの難しい
- ・e575 と同様の意見です。

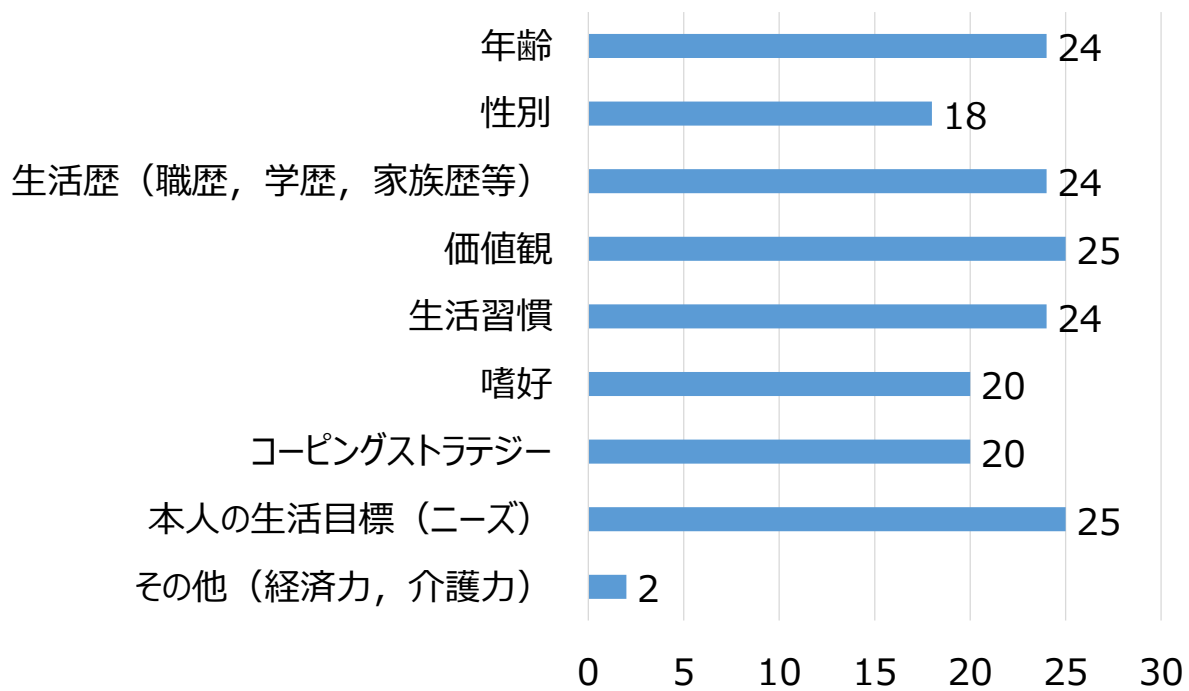


図 2：医療と介護の情報共有に重要と思われる個人因子

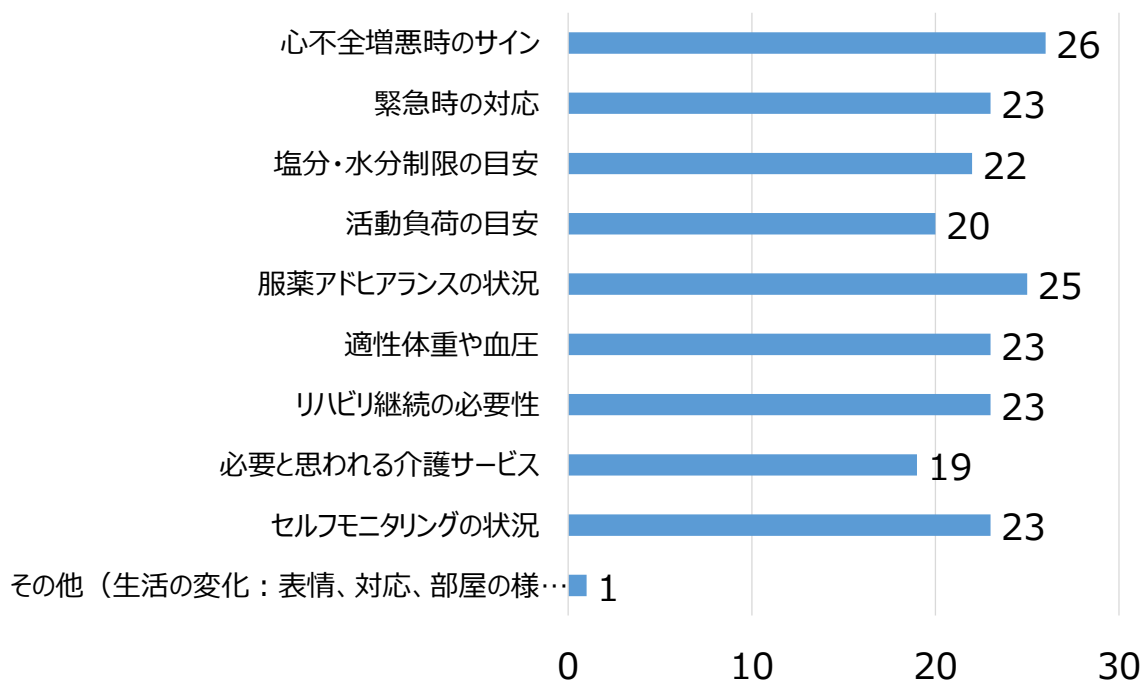


図 3：高齢心不全の医療介護連携に必要と思う情報